

(学校用)

様式 A-1

平成26年6月23日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名： 富山県立 富山高等学校・江口 優治
2. 講師氏名： Adriana LEDEZMA ESTRADA 博士
3. 同行者氏名： 橋本 昌平
4. 実施日時： 平成26年6月18日（水） 14:20 ～ 16 :00
5. 参加生徒： 2年生 79人（合計 79人）
備考：(例：人文社会科学科の生徒：28名、理数科学科の生徒：51名)
6. 講演題目： (英文) PPCPS in Water
(和文) パーソナルケア製品の人の健康および生態系への影響
7. 講演概要：
事前に依頼していた、自己紹介、出身国の文化や教育制度、科学者になった動機と専門分野について概要という順序で講演をしていただいた。特に、講演のメインである PPCPS in Water について半分以上の時間を割いていただいた。また、それぞれの話題ごとに Q&A を入れ、理解力を高めるようにした。
8. 使用言語： 英語(90%)、日本語(10%)
9. 講演形式：
 - (1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 20 分
 - (2) 講演方法 (例：プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
視聴覚教室にて、パワーポイントを使用しての講演
 - (3) 通訳 (例：同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
特に通訳はせず、必要に応じて本人がパワーポイントの図やイラストを白板に書いて理解力を高めるようにしていた。
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
プリント A4 で 4 枚を実施日の半月以上前に課題として配布し、講演 1 週間前に回収、課題の実施状況を確認した。
10. 学校からの支給経費(該当がある場合)： 交通費 宿泊費 謝金
なし
11. その他特筆すべき事項：
事前の対応を含め、とても真摯に対応していただいた。また院生の橋本さんにも受験勉強や大学生活についての質問にも答えていただき、生徒には講演と直接大学院生に質問できる有意義な機会となった。